



## 5 協 議 （座長 CS 会長）

### （1） 各園・各校からの報告（学校・園の様子、月の予定等）

#### ① 大山幼稚園

- ・ 11 月末発表会を行った。オータム・フェスタの様子も取り入れた発表となった。
- ・ 来年度入園するお子さんの様子を保育所から聞き取った。保育所とも連携して来年度につなげていきたい。
- ・ 個別懇談については、事前に保護者から聞きたい内容を提出してもらい、それにお答えするという形をとった。話し合う内容を明確にでき限られた時間内で有効に懇談できた。
- ・ 胃腸炎が流行っているので、子どもたちの健康管理をしっかりやっていきたい。

#### ② 玉井幼稚園

- ・ 11 月末改善センターをお借りして発表会を行った。子どもたちはのびのびと大勢の観客の前で発表していた。
- ・ 12 月初め、餅つき会を行った。家で餅をつく経験も少ないので、ボランティアをお願いし実施した。今は餅を食べた経験もない子どもも増えている。お米がお餅になっていく様子に目を輝かせている姿があった。
- ・ 本日大掃除で子どもたちは教室の物を運び出し、水ぶきでの雑巾がけを行った。雑巾がけも手足の力が弱いためか膝をつかないで雑巾をかけるのが難しくなっている。
- ・ 玉井幼稚園でも胃腸炎が流行ってきて、欠席者が増えている。

（委員） ノロウィルスが流行っているため、「学校や幼稚園などで餅つきはしない」というニュースを見た。対策はどのようにしているのか。

（幼稚園） 保護者のお手伝いの方には手袋をはめてもらうなどして対応した。子どもは直接お餅を触ったりはしないので大丈夫かと思う。

#### ③ 大山小学校

- ・ 個別面談実施時に、5、6年生のみ 1 時間程度の算数の補習授業を行った。ボランティアさんにもご協力いただきながらの実施となった。読み聞かせでもお世話になった。
- ・ 暖かい日には芝生の校庭で元気に遊ぶ姿が見られる。
- ・ 先月末インフルエンザが 2、3 名発生した。拡大せず収まったが、今度は胃腸炎が出始めている。

#### ④ 玉井小学校

- ・ 書初めの指導に地元の書道家の方に来ていただいている。
- ・ 3 年生が授産施設に行き、大根、ねぎの収穫体験学習をさせていただいた。
- ・ 改善センターで斎藤良夫氏のふるさと美術展が開かれていて、学校でも見学に行った。画家になりたいという子どももいて、地域の方に習うことは大切なことであると思った。
- ・ 胃腸炎のため欠席者と早退者が出ている。気をつけたい。

⑤ 大玉中学校

- ・進路の時期となり入試が始まった。年明けすぐには私立高校の入試があり、続けて県立Ⅰ期入試。約半分の生徒が受験する。私立併願の結果を受けて県立Ⅱ期の入試が始まる。
- ・二本松工業高校機械科が定員 80 名から 40 名に減少した。この影響がどう出るか動向が気になる場所である。
- ・県立Ⅰ期入試で決まった子どもは、2月から入学までの2か月間勉強をしないという問題があった。それを受けて高校側ではⅠ期で決まった生徒へも6年生からの学力試験を課すことになった。
- ・台湾から大竹国民中学の生徒が2月に来校することになっている。

(2) 平成28年度「おおたま・オータム・フェスタ」のアンケート結果について

- ・アンケートの内容は

質問①では、今日の活動はよかったか。

質問②では地域とのかかわりについてどうであったか。

質問③では大玉村への理解や愛着が深まったか。であった。

- ・小中学生の回答では「そう思う」「ややそう思う」という回答が90%以上を占めている。総じて子どもたちにとっては非常に楽しかったということである。また、自由記述の部分にも前向きな意見が多くあった。
- ・保護者の回答でも、この活動に関してよかったというご意見をいただいている。自由記述の部分についても総じて肯定的なご意見が多いが、開催時期については、「行事が続いて子どもたちに疲れが見られた。」というようなご意見もあった。また、幼稚園の保護者からは、活動に参加できなかったため、内容がよくわからず評価できないといった意見が寄せられた。
- ・教職員の回答については、総じて、良かったというご意見が、90%近くを占めた。教員にとっては、初めてのことで大変だったという思いもある中で、子どもたちの姿から、この活動は有意義だったという評価となった。
- ・ボランティアの回答では、77名の方から回答をいただいたが、すべての項目でよかったというご意見が90%を超えた。
- ・CS委員からは100%の方が良かったという結果である。
- ・全体では総じて、良かったという評価をいただいた。ただ、大玉村への理解や愛着についての質問への回答が若干低い結果となっている。これはこの一日だけで達成できるものではなく、継続的な取り組みが必要であろうという考えからと思われる。総合的な学習の時間や、社会科でもっと地域に関わった内容を充実させてフェスタでの活動を活かしていくことで、改善できると思う。
- ・今、学校では来年に向けた教育課程の編成を進めているところであるが、開催時期についての課題をクリアしながら来年度も実施する方向で考えている。
- ・老人クラブのアンケートから、ゲートボールもやりたいという意見が出ていたが、今年の種目数だけでも多すぎると思うので、さらにゲートボールも追加するのはかなり厳しいと思う。
- ・先生方から「当日限りの体験になってしまわないように」という意見があったので、事前の準備や事前学習もしっかりと行って、来年に生かしていきたいと思う。
- ・先生方から少々手厳しいご意見もあったので、こういった意見を踏まえて次回につ

なげていきたい。

・いろいろな意見があり、議論するところに発展がある。お互い意見を言い合える交流ができればいいと思う。来年もやるという方向で決まったようなので、CSでもまた協力していきたい。

### (3) 第8回教育フォーラムについて

#### ① 第8回教育フォーラム開催計画（二次案）審議

- ・日程について、大きな変更はないので確認をお願いしたい。
- ・CS委員の報告発表については、おおたま・オータム・フェスタについて、保護者からこの行事についてよく分からないという意見が多かったので、ねらいやアンケートの結果について提示し、子どもたちの様子を写真で示したい。約10分を予定している。
- ・発表者については、子どもの代表3名と、教員代表として今年2年目となる2名の教師をお願いする。また、オリエンテーリング協会会長様にもこれからお願いすることになっている。ボランティアの代表としてお二人を選出したいと思っているが、検討中である。
- ・発表が全て終わったら、藤田副会長さんに発表についての感想と第2部の問題提起をしていただきたいと思う。
- ・第2部については、CS委員の方に各グループの司会をお願いしたいと考えている。
- ・係の分担について確認した。
- ・チラシ配付の時期、締め切りの時期について確認した。
- ・アンケートについて、これからのコミュニティ・スクールの展望についてお聞きする内容を追加した。この内容でよいか。
- ・PTA連絡協議会との共催の方向で検討。

### (4) 平成30年度から実施する幼稚園3年保育について

- ・村内の希望する全ての3歳児を対象に、平成30年度から実施することになった。準備を十分にしてから実施するために、29年度は設備等を整備し、30年度の実施に向けて進める。
- ・幼児期は人間関係の基礎を作る上でとても大切な時期である。その時期に集団生活の場において周囲の人達とのかかわりを3年間かけてじっくりと学んでいくことができるということが、3年保育の大きなメリットである。
- ・クラス編成について、3歳児については20人を定員とするように考えている。排泄の自立が出来ていないお子さんもいるので20人とした。
- ・職員数は担任の他に補助職員を配置する予定である。
- ・保育時間については、特性、体力面を考慮して4,5歳児よりは若干短くなる。
- ・保育内容については、3歳児の発達段階に合わせたカリキュラムを作成して、幼小中のつながりを重視した内容にしたいと考えている。
- ・保育料については、4,5歳児と同じとする。ただし、4,5歳児は第3子から保育料無料としているが、3歳児のみは第2子から無料とする。これは大玉村保育所が第2子から無料となっているので、それに準ずるためである。
- ・スクールバスについては、3歳児はチャイルドシート着用の義務がある。安全面も考えて家庭での送迎とする。
- ・昼食は4,5歳児と同じくお弁当持参とする。

- ・預かり保育については、保護者の方がお勤めをしている場合のみ夕方まで預かるという体制をとる。
- ・預かり保育料についても、3歳児のみ第2子から無料とする。
- ・12月2日に、30年度以降に入園されるお子さんを持つ方を対象に保護者説明会を開催した。この時参加できなかった方を対象に、1月末にも2回目の説明会を開くことになっている。

(委員)平成30年度から始まるということだが、当初何人ぐらいを想定しているのか。

(事務局)基本的には村内在住の全ての3歳児を対象にする。現在の保育所での3歳児保育と並行して運用するという事はない。

(委員)特別な配慮が必要な幼児については支援員を配置するという事だが、その子が預かりもという場合は、預かり保育にも支援員をつけるという事は可能なのか。

(事務局)該当する子どもさんがいた場合は、保護者ともよく話し合っ決めていきたいと思っている。

(委員)20人編成ということだが、最大何クラスまで可能なのか。

(事務局)現状は2クラスを想定している。園舎についても2クラス分増築となる。皆様から何かお気づきの点がありましたら、教育委員会の方までお寄せいただいでよりよいものにしていきたいと思っているのでよろしくお願いします。

## 6 その他

次回のCS委員会は教育フォーラムの一週間前になるのでご出席をよろしくお願い致します。

## 7 閉会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 副会長 藤田安宏

コミュニティ・スクールのさまざまな取り組みは、先生方にとっては大変なのかなと思う。アンケートの記述をみても厳しい意見もあったが、この場でこうした話し合いをして進めているということを理解していただけるようになればと思う。皆さんもアンケートをよく読んでいただきたいて、次につなげていけるように協議をしたいと思う。